



昼の花火
インスタレーション (75cm×300cm)
久保田 貴美子
2023年

「子ども」と「平和」にふさわしい作品を集めて、核と戦争のない21世紀の実現をアピールすることを目的とした「せこへい美術館」(2023年8月)出品作品。細長く切った色画用紙をくるくる丸めたものをパネルに貼りつけていき、花火が大空に舞い上がるように構成した。時間と手間のかかる作業だが、それ自体は難しいことではなく、子どもでも十分に制作は可能である。子どもたちが夢中になって、好きなことに思う存分取り組める環境を私たち大人は作っていかねばならない。しかし残念なことに、世界ではまだまだそのような状況になっていない現実がある。タイトル「昼の花火」には、見えないけれど確かに存在している、という意味を込めた。世界中の子どもたちが、安心して生きていける平和な世の中になることを願って制作している。